

授業科目 福祉用具学 II(コミュニケーション機器)

【担当教員名】 大沼 雅之		対象学年	2	対象学科	義肢	
		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	1	時間数	15	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		態度		
◎		◎		○		
【概要】 言語機能障害、聴覚障害、視覚障害といった他者とのコミュニケーションに必要な機能の障害に起因する能力障害であるコミュニケーション障害とコミュニケーション機器について学ぶ。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
1. 本科目の概要及び成績に関する評価方法を理解している。 2. リハビリテーションにおけるコミュニケーション障害について説明できる。 3. リハビリテーション工学におけるコミュニケーションの概念について説明できる。 4. リハビリテーション工学におけるコミュニケーション機器と環境制御装置について説明できる。 5. コミュニケーション機器と装具の関わりについて説明できる。 6. コミュニケーション障害別にみたコミュニケーション機器の選択方法について説明できる。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス、福祉用具学 II の概要				1	
2	コミュニケーション障害				2	
3	リハビリテーション工学におけるコミュニケーションの概念				3	
4	コミュニケーション能力開発				2, 3, 4	
5	コミュニケーション機器における電子回路の基礎				4	
6	関連装具学				5	
7	コミュニケーション機器の選択				6	
8	まとめ					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書						
その他の資料		講義内容に応じて、適宜プリントを配布				
【評価方法】 最終試験 100%			【履修上の留意点】 本科目と併行して実施される福祉用具演習 II は土曜集中講義となるため、開講日に注意すること。			